

新規就農者の動向について

平成30年8月31日作成

宮城県農林水産部農業振興課

- 1 平成29年度の新規就農者数 171名 (うち認定新規就農者※ 38名)
(平成29年4月1日～平成30年3月31日) ※市町村で認定を受けた認定新規就農者

2 新規就農者の推移

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
人数	76	80	97	102	113	172	179	170	173	183	171

※調査対象年齢：15歳以上65歳未満

3 就農形態別

	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代～	合計
自営就農者	28	5	2	13	10	8	0	33
雇用就農者	72	26	9	49	25	10	5	98
新規参入者	30	10	0	7	17	12	4	40
合計	130	41	11	69	52	30	9	171

※自営就農者：農家出身者で、自家農業（一戸一法人も含む）に就農した者。

雇用就農者：農業法人等で雇用されて就農した者（パート、アルバイト等の非正規雇用は除く。農家出身、非農家出身を問わない）。

新規参入者：非農家出身で農地の取得等により新たに農業経営を開始した者や、農家出身者であっても、親等の経営基盤によらず、自ら農地や施設の取得等を行い新たな農業経営を開始した者。

4 新規就農者の動向

- (1) 平成29年度の県全体の新規就農者数は171人（前年差－12人）であり、前年より減少したものの、県の新規就農者の確保目標（年間130人）を上回る水準を維持している。
- (2) 年代別では、10歳代～20歳代は80人（前年差－11人）、30歳代は52人（前年差－8人）、40歳代は30人（前年差＋5人）、50歳代は9人（前年差＋2人）となった。
- (3) 就農形態別では、雇用就農者は98人（前年差－16人）と前年度より減少したものの、全体の約57%を占めている。自営就農者は33人（前年差－7人）と前年度より減少した。新規参入者は40人（前年差＋11人）と前年度と比較して増加した。

5 農業改良普及センター別

普及センター	自営就農	雇用就農	新規参入	合計
大河原	8	14	8	30
亘理	2	21	11	34
仙台	1	16	5	22
大崎	4	4	3	11
美里	3	8	2	13
栗原	2	4	3	9
登米	6	12	2	20
石巻	7	18	5	30
気仙沼	0	1	1	2
合計	33	98	40	171

6 営農部門別

営農累計	自営就農	雇用就農	新規参入	合計
水稻	7	38	5	50
野菜	11	31	26	68
花き	3	3	2	8
果樹	0	1	0	1
肉牛	8	8	7	23
酪農	3	10	0	13
養豚	0	3	0	3
菌茸	0	3	0	3
その他	1	1	0	2
合計	33	98	40	171

※ 複数経営の場合には、そのうちで主な部門としている。また、雇用就農者の場合には、雇用先の主な部門または雇用就農者が従事している部門としている。